



学校だより

令和2年7月1日
7月号
調布市立第一小学校
校長 川島 隆宏

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> TEL042(481)7636

思いやり算

副校長 飯島 慶裕

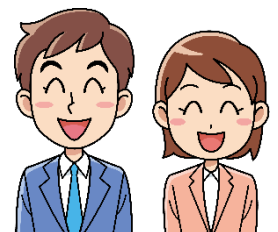
6月1日の分散登校から始まり、15日には金曜時程での通常登校、そして29日からは通常時程での登校となりました。少しずつ学校生活も元に戻りつつありますが、新型コロナウイルスの感染拡大が収まったわけではありません。学校でも、3密を避けながら教育活動を進めているところです。

ところで、今から9年ほど前に、ACジャパンのCMで「思いやり算」というものがありました。記憶されている方もいらっしゃると思いますが、紹介いたします。

- ① **たす** (+) … “たすけあう”
 - ・ バスから降りるお年寄りに手を差し伸べる。
- ② **ひく** (-) … “ひきうける”
 - ・ 赤ちゃんを抱きながら歩道橋を渡るお母さんのベビーカーを持ってあげる。
- ③ **かける** (×) … “声をかける”
 - ・ 泣いている小さな子に声をかける。
- ④ **わる** (÷) … “分け合う”
 - ・ 雨の中、傘を差さずに歩いている1年生に傘を差し伸べる。

CMでは最後に、「それは、人を笑顔にする算数。思いやり算。ほら、やさしいでしょ。」という言葉で終わります。一つ一つは小さなことですが、小さな優しさは、人に笑顔を与え、心を通わせます。今は、新型コロナウイルスの感染拡大により、マスクを着用しているため、相手の表情が十分読み取れず、不安になることもあると思います。だからこそ、積極的に困っている友達がいれば助け合い、よく声をかけ、喜びも苦しみも分かち合う関係づくりが必要だと思えます。

新型コロナウイルス感染拡大防止の取組は、まだ続きます。だからこそ、この「思いやり算」の心で、一人一人がお互いを認め合い、尊重し合い、考えて行動できる子供たちを育てていきたいと思えます。児童の健康と安全を第一としながら、充実した教育活動を展開できるよう、教職員一同全力で取り組んでいきます。



7月の生活目標 物を大切にしよう

物の豊かな社会に生きる子供たち。物を大切にする心を育て、自分の持ち物や人の持ち物、学校の物を大切にする習慣を培いたいと思っています。

「自分の持ち物には名前を書くこと」や「掃除用具や遊び用具などみんなでするものは、正しく使い後始末をしっかりとすること」を重点的に指導していきます。